

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズ Cコース（毎月決算・分配条件提示型・限定為替ヘッジ）／Dコース（毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし）」は、このたび、第28期～第33期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主としてテクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Cコース	第33期末 (2023年11月20日)		第28期～第33期	
	基準価額	6,192円	騰落率	2.5%
純資産総額	362百万円	分配金合計	0円	
Dコース	第33期末 (2023年11月20日)		第28期～第33期	
	基準価額	9,000円	騰落率	14.2%
純資産総額	2,485百万円	分配金合計	0円	

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

Create THE FUTURE

将来のテクノロジー・リーダーが創る未来への投資。

nextWIN

交付運用報告書

GSフューチャー・テクノロジー・リーダーズ

愛称：nextWIN

Cコース(毎月決算・分配条件提示型・限定為替ヘッジ)
Dコース(毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

第28期(決算日2023年6月20日)

第29期(決算日2023年7月20日)

第30期(決算日2023年8月21日)

第31期(決算日2023年9月20日)

第32期(決算日2023年10月20日)

第33期(決算日2023年11月20日)

作成対象期間：2023年5月23日～2023年11月20日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先：03-6437-6000(代表)

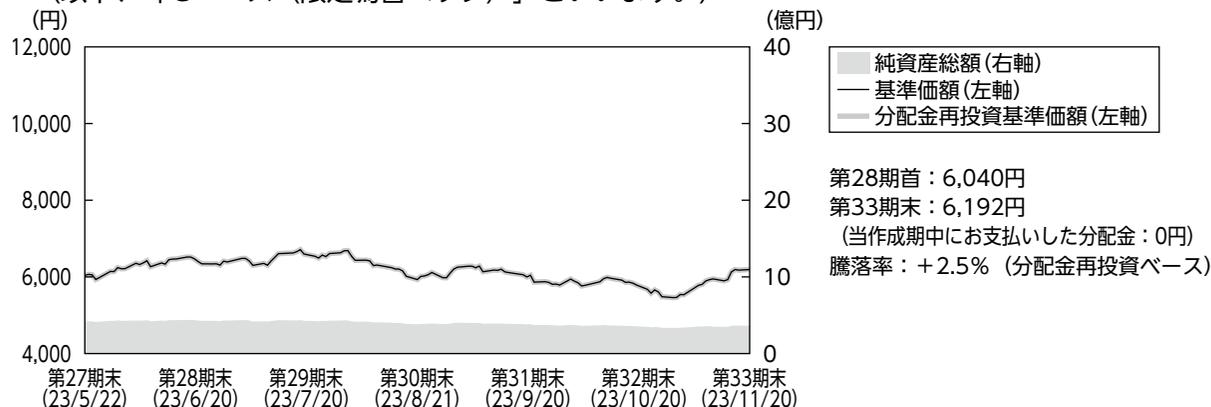
受付時間：営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

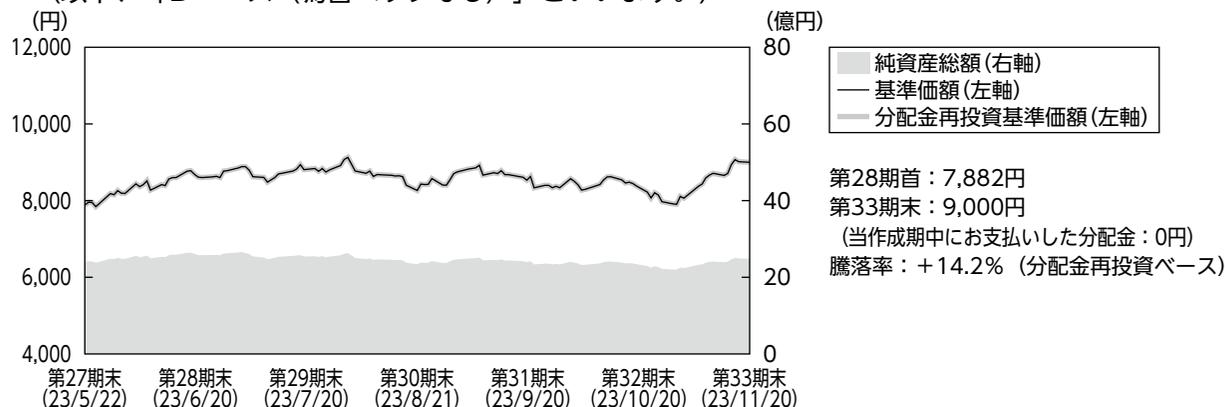
運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年5月23日～2023年11月20日）

○GS フューチャー・テクノロジー・リーダーズ Cコース（毎月決算・分配条件提示型・限定為替ヘッジ）
（以下、「Cコース（限定為替ヘッジ）」といいます。）



○GS フューチャー・テクノロジー・リーダーズ Dコース（毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし）
（以下、「Dコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



(注1) Cコース（限定為替ヘッジ）およびDコース（為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Cコース（限定為替ヘッジ）の基準価額は、期首の6,040円から152円上昇し、期末には6,192円となりました。
- Dコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の7,882円から1,118円上昇し、期末には9,000円となりました。
(以下、2ファンドを総称して「本ファンド」といいます。)

上昇要因

投資銘柄のうち、K L Aやマーベル・テクノロジーなどの株価が保有期間中に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、エンフェーズ・エナジーやニデックなどの株価が保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○Cコース（限定為替ヘッジ）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	2023年5月23日～2023年11月20日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	54円 (27)	0.889% (0.438)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(27)	(0.438)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	4 (1)	0.061 (0.012)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(2)	(0.025)	
(その他)	(1)	(0.025)	
合計	58	0.950	

期中の平均基準価額は6,119円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

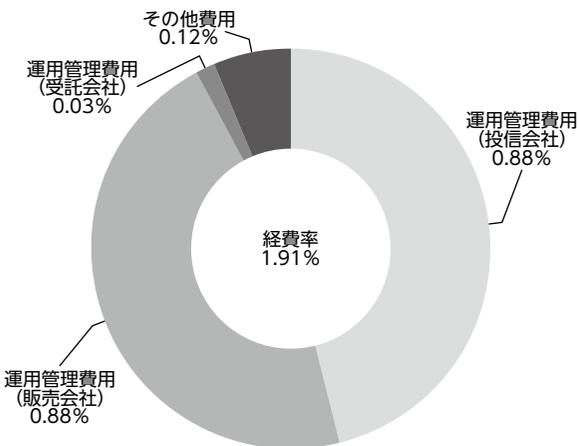
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.91%です。



経費率 (①+②)	1.91%
①このファンドの費用の比率	1.91%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Dコース（為替ヘッジなし）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	2023年5月23日～2023年11月20日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	75円 (37)	0.889% (0.438)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(37)	(0.438)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	4 (0)	0.050 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	
(その他)	(4)	(0.046)	
合計	79	0.939	

期中の平均基準価額は8,483円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

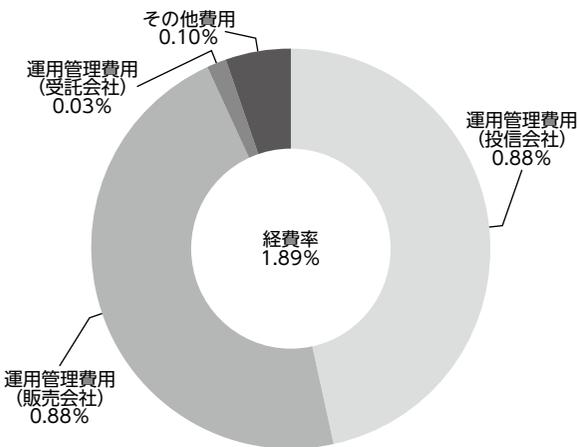
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.89%です。



経費率 (①+②)	1.89%
①このファンドの費用の比率	1.89%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

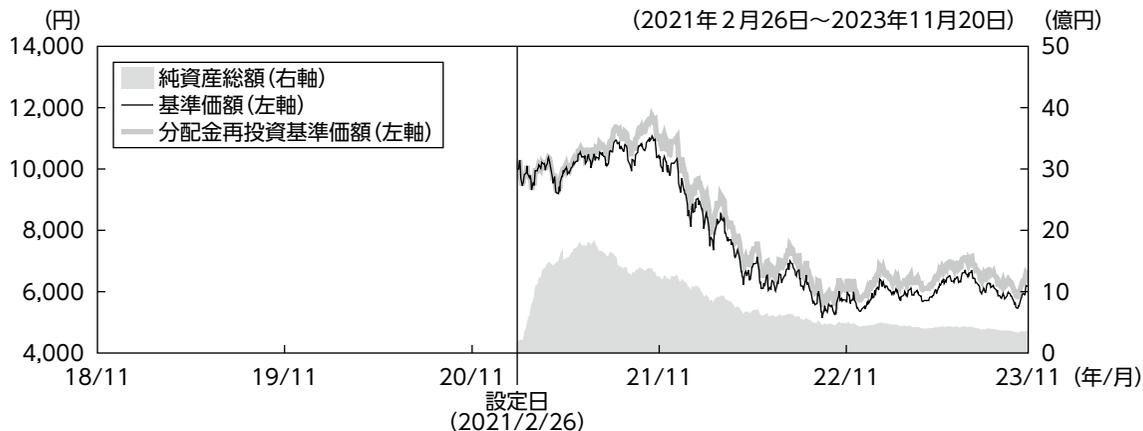
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

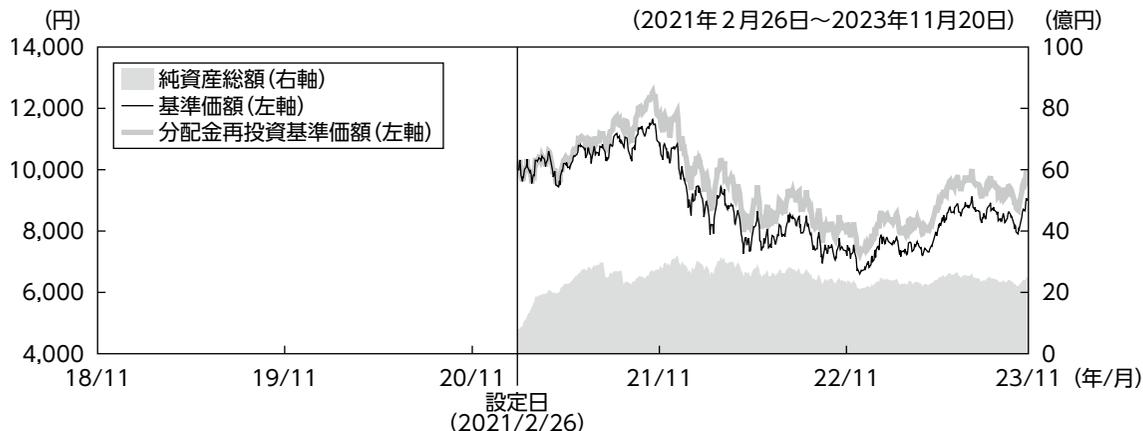
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

○Cコース (限定為替ヘッジ)



○Dコース (為替ヘッジなし)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日(2021年2月26日)の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) Cコース(限定為替ヘッジ)およびDコース(為替ヘッジなし)の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Cコース (限定為替ヘッジ)

	2021/2/26 設定日	2021/11/30 決算日	2022/11/21 決算日	2023/11/20 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	10,349	5,779	6,192
期間分配金合計 (税引前) (円)	－	700	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	10.6%	－44.2%	7.1%
純資産総額 (百万円)	200	1,243	493	362

○Dコース (為替ヘッジなし)

	2021/2/26 設定日	2021/11/30 決算日	2022/11/21 決算日	2023/11/20 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	10,808	7,487	9,000
期間分配金合計 (税引前) (円)	－	900	100	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	17.5%	－30.1%	20.2%
純資産総額 (百万円)	800	2,772	2,405	2,485

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年11月30日の騰落率は設定当初との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) Cコース (限定為替ヘッジ) およびDコース (為替ヘッジなし) の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<世界株式市場>

当期の世界株式市場は上昇しました。

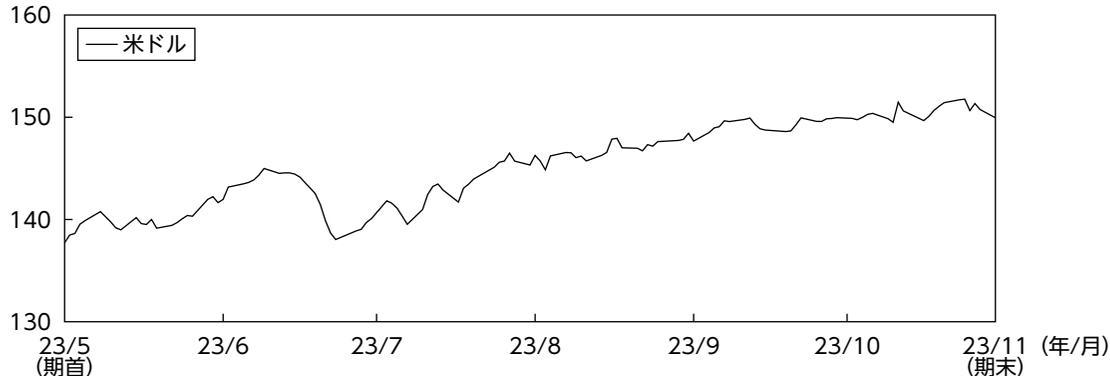
米地銀破綻など金利上昇によるリスクの顕在化の可能性を意識しながらも、AI（人工知能）技術の発展は市場の大きな関心を集め、また米国の大手半導体企業の決算発表をきっかけにAIに関連した需要が急拡大しました。これらが好材料として受け止められ、年初来大きく上昇していた市場は、AI関連銘柄を筆頭にモメンタムをさらに拡大させました。2022年以降、主にテクノロジー銘柄の株価の重石となっていた金利動向については、米国でのインフレが鈍化の動きを見せながらも高水準で推移したことなどから、金利は上昇基調となりました。特に2023年8月以降、米10年債金利が節目の4%を超えると市場はリスクオフの動きを見せましたが、10月中旬以降に金利のピークアウトの動きが観測されると、株式市場は反発しました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移

(円/ドル)



出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は期首の5.8%程度から5.3%程度まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、テクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。また、Cコース（限定為替ヘッジ）では、投資対象の米ドル建ての投資信託証券が保有する日本円建資産相当部分を除いた実質的な外貨建資産について、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資ベース）

ファンド名	騰落率 (米ドルベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ*1	5.9%	15.3%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド*2	2.8%	11.9%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. -ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・クラス
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ>

「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行いつつ、主としてテクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される日本を含む世界の企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。投資対象には中小型株式および新興国株式も含まれます。

当期においては、個別銘柄選択の結果などに基つき、機動的な国別配分を行いました。業種別では、期を通じて、堅調な成長が見込まれる情報技術セクターやコミュニケーション・サービスセクターを中心に投資を行いました。また、個別銘柄では、アリスト・ネットワークス、村田製作所などを組入れ、サービスナウ、アディエンなどを全売却しました。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、Cコース（限定為替ヘッジ）およびDコース（為替ヘッジなし）は、第28期から第33期の分配は行わないこととしました。

収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Cコース（限定為替ヘッジ）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 28 期	第 29 期	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期
	2023年5月23日 ～2023年6月20日	2023年6月21日 ～2023年7月20日	2023年7月21日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年10月20日	2023年10月21日 ～2023年11月20日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
（対基準価額比率）	—	—	—	—	—	—
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	772	772	772	772	772	772

○Dコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 28 期	第 29 期	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期
	2023年5月23日 ～2023年6月20日	2023年6月21日 ～2023年7月20日	2023年7月21日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月20日	2023年9月21日 ～2023年10月20日	2023年10月21日 ～2023年11月20日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
（対基準価額比率）	—	—	—	—	—	—
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	942	942	942	942	942	942

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオを高位に組入れることで、日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、テクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。また、Cコース（限定為替ヘッジ）では、投資対象の米ドル建ての投資信託証券が保有する日本円建資産相当部分を除いた実質的な外貨建資産について、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ>

「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行いつつ、主としてテクノロジーの活用または発展により恩恵を受け、将来のリーダーになると期待される日本を含む世界の企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。投資対象には中小型株式および新興国株式も含まれます。

2022年は、ウクライナ危機による地政学リスクの高まり、インフレ圧力、各国中央銀行による金融引き締めなどにより、株式市場は大きく調整し上値の重い展開が続きました。2022年後半以降、株式市場は回復を見せており、足元ではインフレ鈍化の見方も形成されつつあり、欧米における利上げも最終局面にあるとの期待が広がる一方で、根強いインフレによる金融引き締めの長期化に対する懸念も残っています。また、経済成長の減速による企業業績への影響も懸念されます。このような投資環境に鑑みると、企業業績を慎重に見極めた上での銘柄選択が重要な局面が継続するものと考えます。当戦略においては、引き続き投資方針に基づき、ボトムアップの銘柄選択により、先行きのファンダメンタルズが良好でバリュエーションが魅力的な銘柄に投資していきます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

（上記見通しは2023年11月20日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

お知らせ

約款変更について

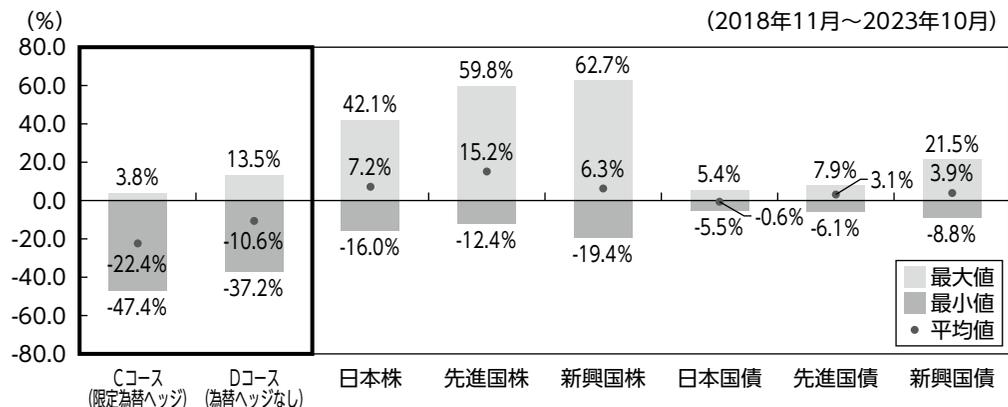
・2024年から実施されるNISA（少額投資非課税制度）の適用を明確にする目的で、指定投資信託証券における実質的なデリバティブ取引の利用目的を明確化しました。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として、テクノロジーの発展により恩恵を受ける日本を含む世界の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. <ul style="list-style-type: none"> ①ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー <ul style="list-style-type: none"> ②ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	日本を含む世界の株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①実質外貨建資産については、Cコースでは、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引を行い、Dコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月20日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年11月から2023年10月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、1年騰落率は各月末の直近1年間の騰落率であるため、本ファンドの騰落率においては設定日(2021年2月26日)から1年後の2022年2月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性) を含みませんが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2023年11月20日現在)

<Cコース (限定為替ヘッジ) >

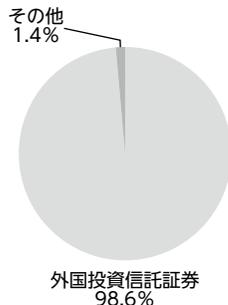
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

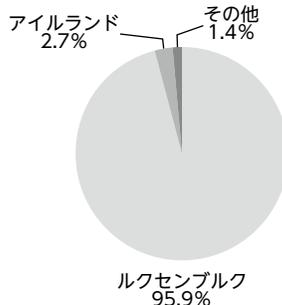
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ	95.9%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

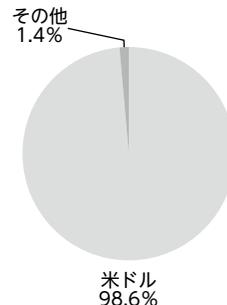
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てCコース (限定為替ヘッジ) の純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

<Dコース (為替ヘッジなし) >

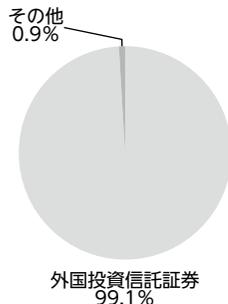
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

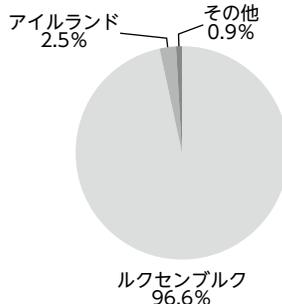
ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ	96.6%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

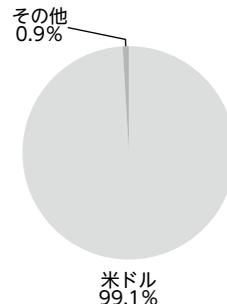
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記の比率は全てDコース (為替ヘッジなし) の純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

○Cコース（限定為替ヘッジ）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2023年6月20日	2023年7月20日	2023年8月21日	2023年9月20日	2023年10月20日	2023年11月20日
純資産総額	438,943,782円	435,726,205円	381,306,502円	380,874,587円	355,062,486円	362,989,373円
受益権総口数	673,477,298口	649,251,822口	642,915,801口	634,921,911口	613,376,504口	586,178,148口
1万口当たり基準価額	6,518円	6,711円	5,931円	5,999円	5,789円	6,192円

(注) 当作成期首元本額は697,329,378円、当作成期間（第28期～第33期）中において、追加設定元本額は4,750,781円、同解約元本額は115,902,011円です。

○Dコース（為替ヘッジなし）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2023年6月20日	2023年7月20日	2023年8月21日	2023年9月20日	2023年10月20日	2023年11月20日
純資産総額	2,640,157,811円	2,577,606,756円	2,340,027,058円	2,393,561,468円	2,341,439,554円	2,485,833,193円
受益権総口数	3,006,446,031口	2,884,285,686口	2,831,313,399口	2,805,021,935口	2,793,181,841口	2,762,158,460口
1万口当たり基準価額	8,782円	8,937円	8,265円	8,533円	8,383円	9,000円

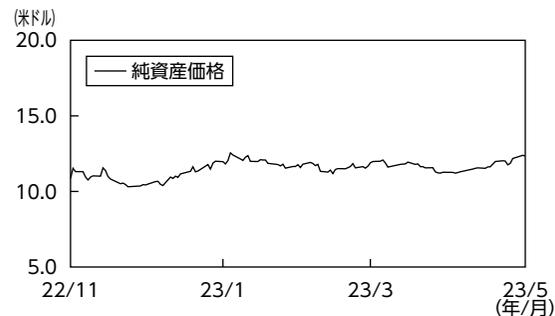
(注) 当作成期首元本額は3,048,557,691円、当作成期間（第28期～第33期）中において、追加設定元本額は50,694,151円、同解約元本額は337,093,382円です。

組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フューチャー・テクノロジー・リーダーズ・エクイティ・ポートフォリオ> (2023年5月31日現在)

* 2023年11月20日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2022年12月1日~2023年5月31日)



* I Oアキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2023年5月31日に終了した期間) (単位:米ドル)

費用	
当座借越支払利息	134
投資顧問報酬	1,568,451
保管費用	200,904
管理事務代行報酬	181,571
販売報酬およびサービシング報酬	6,536
名義書換事務代行報酬	24,635
年次税	154,145
監査報酬	5,266
管理会社報酬	140,572
取締役報酬	9,447
弁護士報酬	36,414
保険費用	10,944
印刷費用	29,748
出版費用	1,968
財務報告報酬	10,374
支払代理人報酬	7,949
規制報告報酬	15,080
その他費用	50,956
	<u>2,455,094</u>
費用合計	<u>2,455,094</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示していません。

○組入上位10銘柄

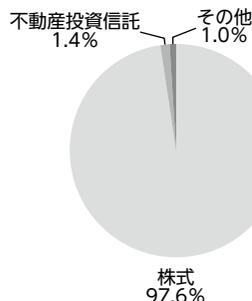
順位	銘柄	国	比率
1	Marvell Technology, Inc.	米国	3.3%
2	Motorola Solutions, Inc.	米国	3.1%
3	KLA Corp.	米国	2.8%
4	HubSpot, Inc.	米国	2.8%
5	Datadog, Inc. Class A	米国	2.8%
6	United Microelectronics Corp.	台湾	2.8%

(組入銘柄数: 63銘柄)

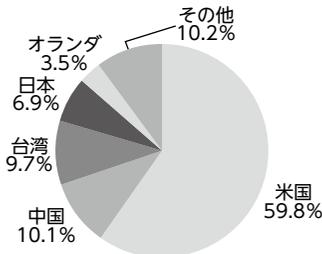
順位	銘柄	国	比率
7	Workday, Inc. Class A	米国	2.6%
8	Hoya Corp.	日本	2.4%
9	MercadoLibre, Inc.	ウルグアイ	2.4%
10	Cadence Design Systems, Inc.	米国	2.4%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

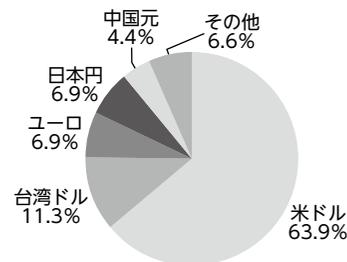
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

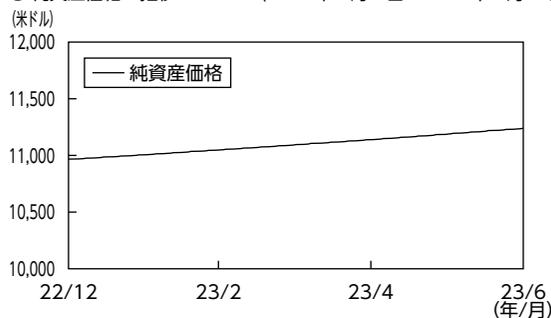
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年6月30日現在)

* 2023年11月20日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年6月30日)



* X アクкумуляション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2023年6月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	42,361,347
管理会社報酬	2,176,932
管理事務代行報酬	698,330
保管費用	908,770
販売報酬	1,654,750
名義書換事務代行報酬	280,520
監査報酬	8,151
取締役報酬	6,047
弁護士報酬	20,925
保険費用	82,131
印刷費用	16,472
その他費用	264,444
費用合計	48,478,819
投資顧問報酬調整額	(4,384,235)
運用費用合計	44,094,584

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

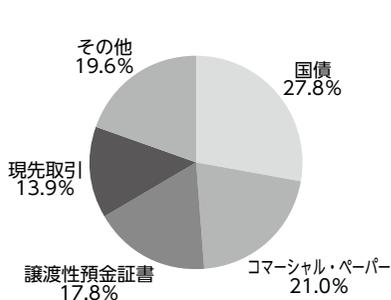
順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	5.2%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.1%
4	United States Treasury Bill	国債	3.0%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	1.9%

(組入銘柄数: 174銘柄)

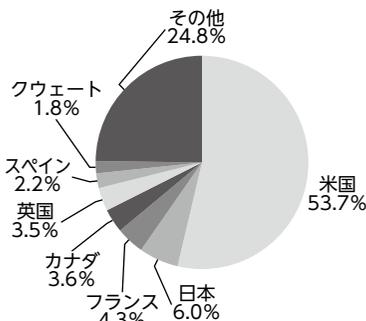
順位	銘柄	種別	比率
7	National Bank of Kuwait	譲渡性預金証書	1.8%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	United States Treasury Bill	国債	1.7%
10	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

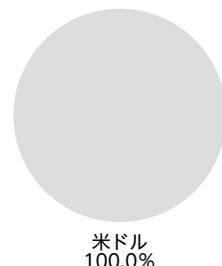
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。